

ICTサービス安心・安全研究会

**携帯電話の料金その他の提供条件に
関するタスクフォース**

平成27年10月26日

日本通信株式会社
代表取締役社長

福田 尚久

1.MNOとの競争環境に対する考え方

現状

- ① 1996年に日本初のMVNOが誕生して19年
- ② 昨今「MVNO」という言葉も市民権を得つつある
- ③ しかし、MVNO加入者はわずか326万人(2.1%) *3

(単位：万契約)	MVNO (MNOであるMVNOを含む) サービスの契約数*1	MVNO (MNOであるMVNOを除く) サービスの契約数*1	携帯電話・PHS利用契約数*1	独自サービス型SIMのMVNO利用契約数 (格安SIMなど) *2
平成26年度 第4四半期 (3月末)	3,128	952	786	326

- ④ 話題になっている割には、MVNOは伸びていない

注 *1 出典：総務省 電気通信サービスの契約者数及びシェアに関する四半期データの公表（平成26年度 第4四半期（3月末））
 *2 出典：MM総研
 *3 携帯電話・PHS・BWAの契約数（グループ内取引調整後）に占める独自サービス型SIMの契約数の比率

「2つのギブス」を外してください！

① 実質値上げが続く携帯網の賃借料(接続料・卸料金)

実質値上げが続いている

② MVNOに課せられている技術的制約

あれもできない、これもできない

① 実質値上げが続く携帯網の賃借料

MNOの平均通信速度の推移

出典：日経トレンディ2007年7月号P.77、2012年10月号P.30-31、
 2014年6月号P.32-33 東名阪12～16地点での測定結果の平均値を引用

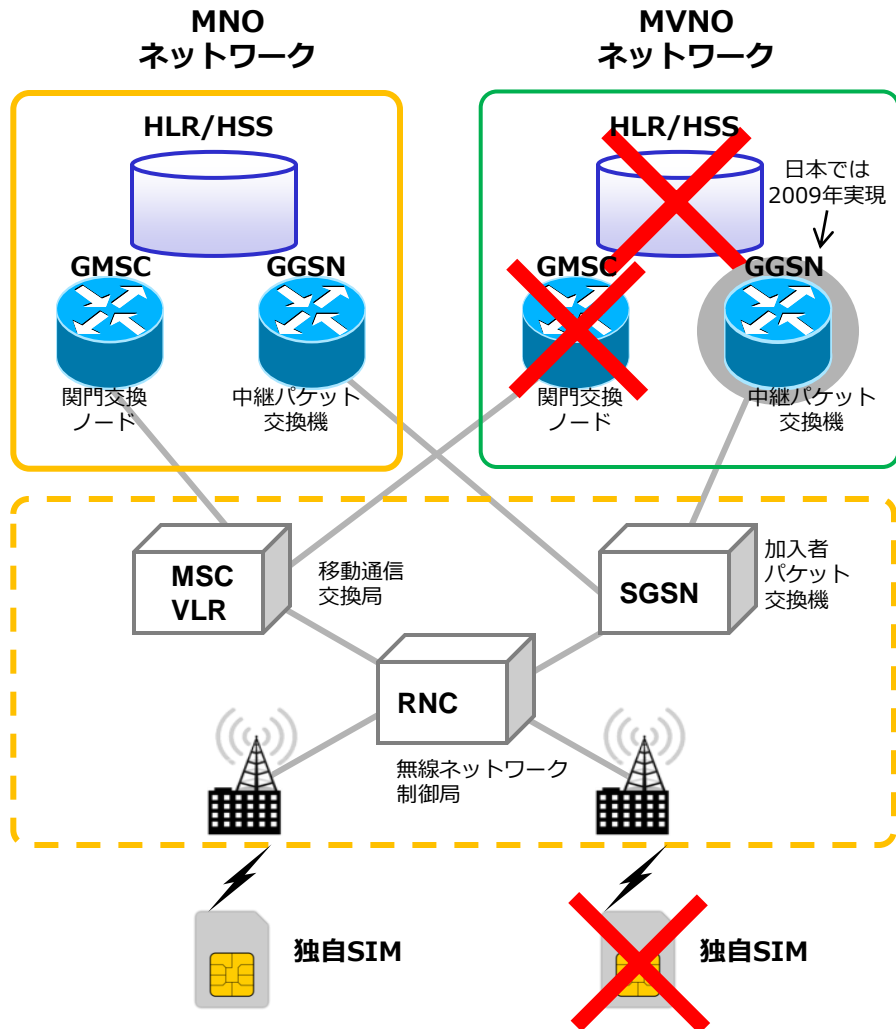
	2007年7月号	2012年10月号	2014年6月号
平均通信速度 (ドコモ)	0.66Mbps	3.87Mbps	27.5Mbps
年度間比較	1.0倍	5.8倍	41.3倍

賃借料の推移

	2008年度	2012年度	2014年度
接続料 (ドコモ:10Mbpsあたり月額)	12,671,760円	2,846,478円	945,059円
	↓ X1.0倍	↓ X5.8倍	↓ X41.3倍
ドコモと同等の 通信品質を維持するための 実質接続料 (円)	12,671,760円	16,509,572円 1.3倍	39,030,937円 3.1倍

**MNOとのイコール・フットィング
 を実現する料金に**

②MVNOに課せられている技術的制約



- 海外におけるMVNO類型（「フルMVNO」の場合）
- MVNOサービスの多様性（新サービスの開発可能性）は技術的にどこまでの柔軟性を持てるかが鍵
- 左図のとおり日本のMVNOは技術的制約ばかり（ギプス状態）

出典：仏ARCEP資料より抜粋（2002年）

技術的制約が解けたら実現したいサービス例

① 980円音声定額サービス

MNOの音声定額は2,700円（一部MNOは1,700円）

② グローバル均一料金サービス

東京でも、ニューヨーク、ロンドン、パリでも

③ IoT/M2Mサービスの急速な拡大・発展

e-SIM、ソフトSIM等の展開

④ マルチネットワーク一元化サービス

真のFMCを実現

⑤ グローバル無線専用線

インターネットを一切使わない無線専用線をグローバル展開

2.MVNOの普及に向けた取組・課題

普及の阻害要因

解決策

- | | | |
|--------------------|---|---|
| ① 音声定額プランの欠如 | ➡ | ・ 音声定額プランの卸(短期)
・ 音声網接続(中期) |
| ② 不完全な即時MNP対応 | ➡ | ・ HLR/HSS接続 |
| ③ 端末設定(APN設定等)の簡易化 | ➡ | ・ HLR/HSS接続 |
| ④ 劣後する通信品質 | ➡ | ・ 携帯網賃貸料(接続料・卸料金)の適正化 |
| ⑤ 未成熟なSIMフリー端末市場 | ➡ | ・ 端末の購入を支援する通信料金割引の是正(短期)
・ SIMフリー政策の促進(IMEIロックの解除等) |

端末の購入を支援する通信料金割引

不公平

頻繁に買い替える人の端末代金の一部を
あまり買い替えない人が費用負担



SIMフリー端末
は高い？

買い替える人にとっては、MNO端末よりもMVNO端末
(SIMフリー端末等)の方がはるかに高く見える



不合理な
商習慣

結果的には、ユーザ間の不公平割引制度を原資にして
端末価格を安くしているという不合理な商習慣

3.MVNOサービスの低廉化・多様化に 向けた取組・課題

早急に

① 「2つのギブス」を外す

- 実質値上げが続く賃借料
- MVNOに課せられている技術的制約

早急に

② MVNO普及の阻害要因を取り除く

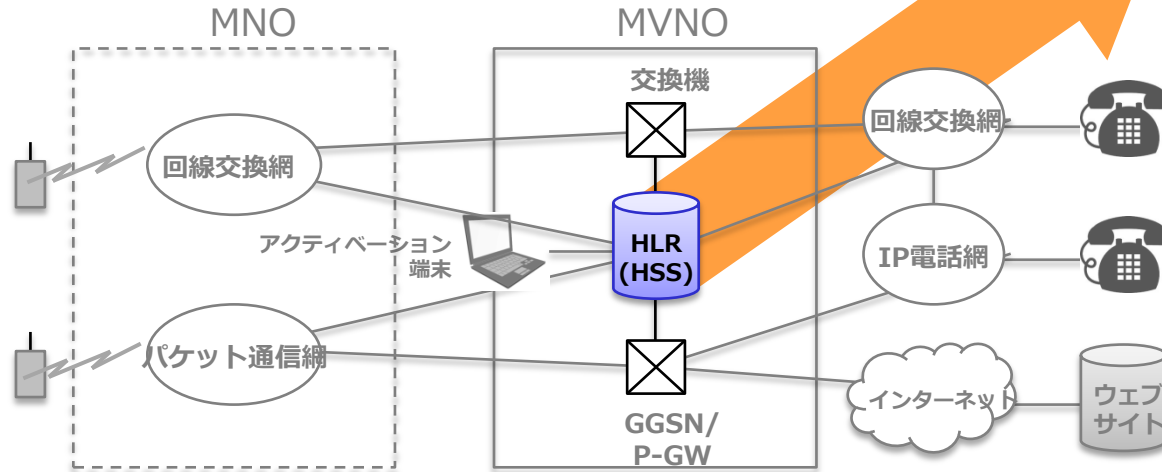
HLR/HSSによるアプリケーションの拡大

グローバルIoT市場への対応
➢ e-SIMなどの流通拡大

SIMを使ったアプリケーションサービスの導入
➢ 他業界とのサービス融合促進

音声通話料金低廉化
➢ 3G音声もVoLTEも

HLR/HSSが
広げる次世代MVNO
サービス



国際ローミングに
依らない廉価な通信
サービスの提供
➢ マルチIMSIサービス
などの提供

マルチネット
ワークサービス
➢ 無線周波数資源
の有効利用

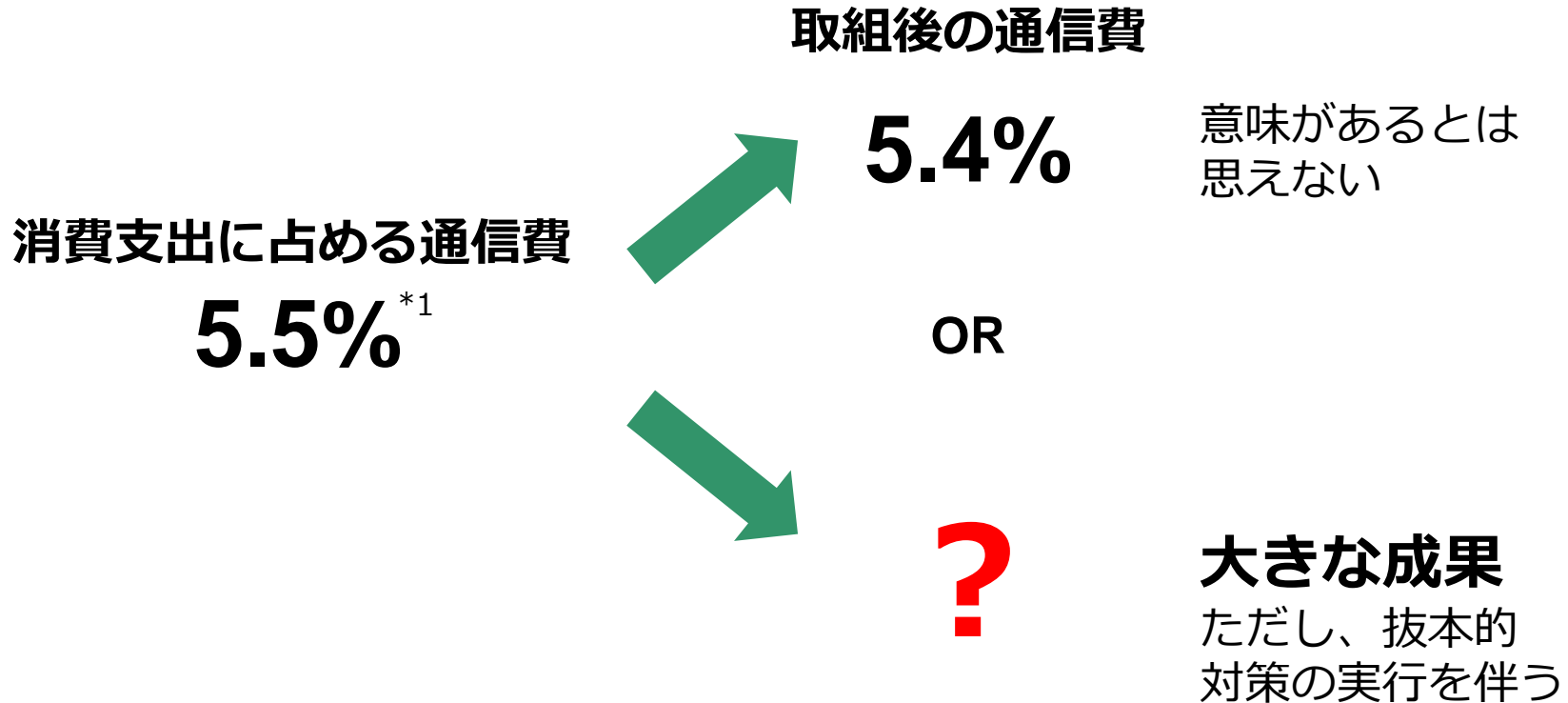
サービス開始手続きの
24時間オペレーション
➢ 完全な即時MNPなど

端末設定の簡素化
➢ APN自動設定など

通信セキュリティの向上
➢ MVNO独自セキュリティ
サービスの提供

* 図は総務省「携帯電話の料金その他の提供条件に関するタスクフォース」（第1回）資料を基に作成

通信費負担の低減に向けて



*1 出典：総務省「携帯電話の料金その他の提供条件に関するタスクフォース」（第1回）資料より

